利賀っ子だより

R４．１２．７

○ 掃除の時間

【この広い空間も一人で】

利賀小学校では「1 年教室と 2 年教室とオープンスペースを 3 人」、「3 階廊下と 1～4 階までの階段と音楽室と職員玄関を 3 人」「男女のトイレを 2 人」など、広い範囲を2～3人で分担して掃除をしています。ですから、一人当たりの清掃の範囲がとても広いです。また、低学年でも掃除機やモップ等、雑巾やほうき以外の様々な清掃用具を使って活動しています。

先日の掃除の時間、3 人グループの内の 2 人が欠席し、1 年生が一人だけになったグループがありました。一人で大変だろうから手伝おうと掃除場所に行ってみると「大丈夫ですよ。がんばりますから。」と心強い言葉。

しばらくすると、別の掃除場所から 2 年生が慌ててやってきました。どうしたのかと思い、聞くと、1 年生を手伝いに来たというのです。自分の班のリーダーさんに 1 年生のことを話すと「(2 年生の分も）やっておくから行ってきて。」と言ったそうです。

1 年生が一人になると気が付いて何とかしようと思った 2 年生、それを聞いて自分にできることを考え、行動した 6 年生のリーダー。なんともすてきな心のリレーだと思いました。今年度の重点目標の 1 つに「友達に優しい声をかける」があります。優しい声をかけるだけでなく、行動に移した子供たちの姿に明るい気持ちになりました。

朝の会で子供たちにこの話を紹介した次の掃除の時間、「何か手伝う？」という声があちこちで聞こえたのは言うまでもありません。素敵な利賀っ子です。

一人で掃除機をかけていた 1 年生。玄関のカーペットのところで一苦労。掃除機の吸引力が強すぎで掃除機が動きにくくなっていたのです。しゃがみこんで掃除機を見つめ「じゅうたん」と書いてあるレバーを押して、「そういうことね。」と一言。「どういうこと？」と聞くと「じゅうたん掃除のときは、ここを押したら動くようになる。」と。ブラシの使い分けに気が付いたようでした。早速、床やカーペットでブラシを使い分けて

試していました。

【そういうことね。】

いろいろな経験をすることでたくさんの知識が身に付いたり、好奇心を高めたりすることができることをあらためて感じた場面でした。

（高田　公美）